

模擬訓練実務研修会

被災宅地危険度判定士養成講習会

公益社団法人 全国宅地擁壁技術協会

危険度判定票を作成してみよう

宅地編／のり面編

まず周囲を眺めます。



建物が少し後傾している

沈下15cm程度

3cm未満の
クラックが
複数



電柱が少し傾いている

建物が動く
土が盛上がる

建物は明確なクラックありません

のり面が滑っている



(様式-2)

宅地地盤／のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

調査日時		年 月 日 時		調査番号	
調査者		地盤名又は降雨災害名			
被害発生場所		都道府県		市郡 区町村	
地区 団地		丁目		番 号	
所有者・管理者氏名		記入者氏名		TEL:	
所有者・管理者の連絡先		居住者への説明		□済 □未了	
TEL:		□居住者不在 □老人独居住宅		応急措置 □済 □未了	
宅地地盤		のり面・自然斜面			
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	6.のり面・自然斜面
1.クラック	2-1.ハラミ	2-2.壁がけ	3.ガリ-浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
5.のり面保護工変状		6.排水施設の変状			
 					
[平面図]			[断面図]		
被災写真の有無		□無 □有→写真番号			
特記事項					

宅地地盤

手引き-16

のり面・自然斜面の基礎的条件					
地盤	岩 □軟岩 □硬岩 □不明	オーバーハング	□無 □有		
土 砂	□砂質土 □雑質土 □粘性土 □不明	排水施設	□無 □有 (のり面、小段排水)		
のり面高	最大高 m (平均高 m)	のり面保護工	□無 □植生工 □構造物		
(複合のり面は擁壁高さ)	擁壁高さ m	擁壁配置	□のり面の上部 □のり面の中部		
のり面勾配	度	□のり面の下部 □全面			
のり長さ	m	家屋の有無	上部 □有 □無 下部 □有 □無		
変状形態と配点表					
変状形態のチェック(複数可)	小	中	大		
1 クラック(幅)	3cm未満	3~15cm未満又は複数	15cm以上又は全面	5	
2 陥没(深さ)	20cm未満	20cm~50cm未満	50cm以上	6	
3 沈下(沈下量・規模)	10cm未満	10~25cm未満	25cm以上	7	
4 段差(段差量)	20cm未満	20~50cm未満	50cm以上	8	
5 隆起(隆起量・規模)	20cm未満	20~50cm未満	50cm以上	9	
変状形態のチェック(複数可)	小	中	大		
1 クラック(幅)	3cm未満又は単数	3~15cm未満又は複数	15cm以上又は全面	3	
2 ハラミ・壁がくれ(隆起量・規模)	10cm未満又は1宅地ごとののり面等面積に対し10%未満	10~30cm未満又は1宅地ごとののり面等面積に対し10~50%未満	30cm以上又は1宅地ごとののり面等面積に対し50%以上	5	
3 ガリ-浸食	クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた段階。	のり面の表土が雨裂に陥没するなど放置していると被害が広がるおそれのあるもの、又はのり面中部までの崩壊。	洞穴状や亀裂状にガリ-が進展して家屋の基礎やのり面等の下に被害を及ぼすような状態。	8	
4 滑落・崩壊	部分的な表層すべり、又はのり面上部の小崩壊。	表層すべりが進んでえぐり取られたような状態。放置すると拡大するおそれのあるもの、又はのり面中部までの崩壊。	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊。	9	
5 のり面保護工の変状(植生工は除く)	例えば、のり枠の間詰めシート吹付工におよかにテンションクラックが見られるが吹付工のすれは認められない程度。	例えば、のり枠の間の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・すれが見受けられる。	例えば、のり枠の浮上り破損。又はコンクリート吹付工のラス金網が露出し、コンクリート吹付面にも破損が見受けられる。	9	
6 排水施設の変状	天端排水溝にすれ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。	左に加え、のり面のクラック、又は目地からの湧水がある。	排水溝が破断沈下するなど、排水機能が失われている。	7	
8 湧水、落石・転石 □無 □有→+1点(上の点数に1点を加える)					
被害の判定値(上記の最大値を被害程度の点数とする)		小被害: 1~3点(当面は防災上問題なし) 中被害: 4~7点(制限付き立入、進行していれば避難) 大被害: 8~10点(危険、要避難、立入禁止)			
危険度判定		□大 □中 □小			
所見(記入者の意見)		緊急度 □大 □中 □小 拡大の見込 □有 □無 □判断不可(備考:)			

手引き-17

宅地地盤の危険度評価／隆起・沈下・陥没

ここでは、
 建物表のアスファルト面に
 3cm未満のクラックが複数 → 中
 15cm程度の沈下 → 中
 建物は傾斜している
 液状化はないようです

宅地地盤の危険度評価／隆起・沈下・液状化

表3-24 宅地地盤の配点表

程度	宅地地盤の配点表		
	小	中	大
1クラック(幅)	1	3	5
2陥没(深さ)	2	4	6
3沈下(沈下量・規模)	2	4	7
4段差(段差量)	3	5	8
5隆起(隆起量・規模)	7	8	9
6湧水・噴砂	液状化による噴砂はなし		0点
合計値	4		

変状点の最大値を抽出する → 4点

被害の評価

・変状点の合計値

4

・点数範囲

4～7点

・判定区分

中

変状が著しく、当該宅地に立ち入る場合は、時間、人数を制限するなど十分注意する。
変状が進行していれば避難も必要。

要注意宅地

(様式-2)

調査票		宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票	
調査日時	年 月 日 時	調査番号	
被災地又は降雨災害名			
被害発生場所	都道府県	市郡	区町村
	地区団地	丁目	番 号
所有者・管理者氏名	記入者氏名	TEL:	
所有者・管理者の連絡先 TEL:	居住者への説明	☐ 済 ☐ 未了	
宅地地盤		のり面・自然斜面	
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差
5.隆起	6.隆起	7.クラック	8.ハラム
9.2-1.ハラム	10.2-2.隆起	11.3.スリ-浸食	12.4-1.滑落
13.4-2.崩壊			
5.のり面保護工変状	6.排水施設の変状		
除雪土砂搬出 (除雪上り)			
[平面図] [断面図]			
被災写真の有無 ☐ 無 ☐ 有 写真番号 []			
特記事項			

のり面

手引き-16

手引き-17

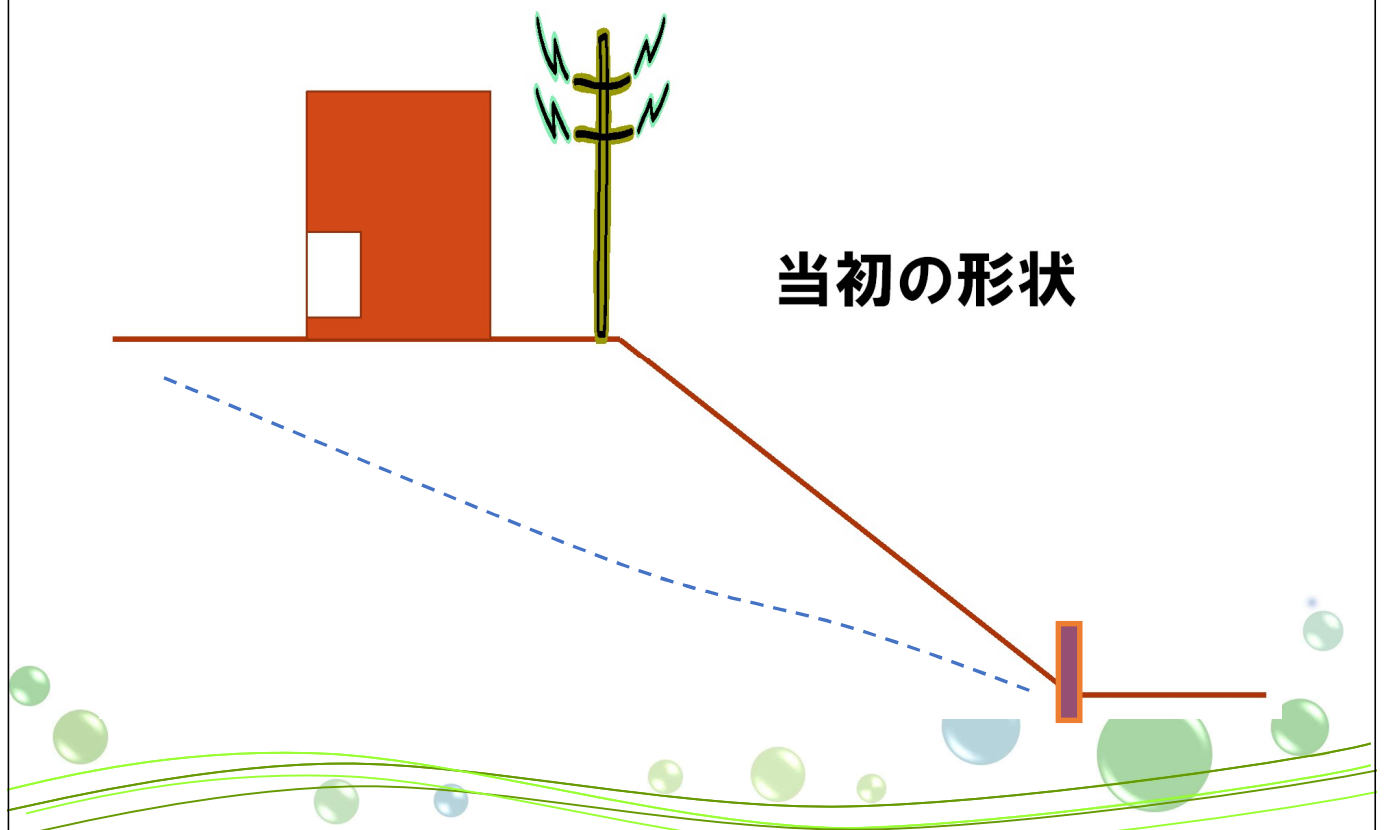
のり面・自然斜面の基礎的条件					
地盤	岩 ☐ 軟岩 ☐ 硬岩 ☐ 不明 ☐	オーバーハング	☐ 無 ☐ 有		
土 砂	☐ 砂質土 ☐ 礫質土 ☐ 粘性土 ☐ 不明 ☐	排水施設	☐ 無 ☐ 有 (のり肩、小段排水)		
のり面高	最大高 m (平均高 m)	のり面保護工	☐ 無 ☐ 植生工 ☐ 構造物		
(場合のり面は擁壁高含)	{うち擁壁高さ m}	擁壁配置	☐ のり面の上部 ☐ のり面の中部		
のり面勾配	度		☐ のり面の下部 ☐ 全面		
のり長さ	m	家屋の有無	上部 ☐ 有 ☐ 無 ; 下部 ☐ 有 ☐ 無		

変状形態と配点表					
宅地 地盤	1 クラック (幅)	3cm未満	1 3~15cm未満又は複 数	3 15cm以上又は全面	5
	2 陥没 (深さ)	20cm未満	2 20cm~50cm未満	4 50cm以上	6
	3 沈下 (沈下量・規模)	10cm未満	2 10~25cm未満	4 25cm以上	7
	4 段差 (段差量)	20cm未満	3 20~50cm未満	5 50cm以上	8
	5 隆起 (隆起量・規模)	20cm未満	7 20~50cm未満	8 50cm以上	9

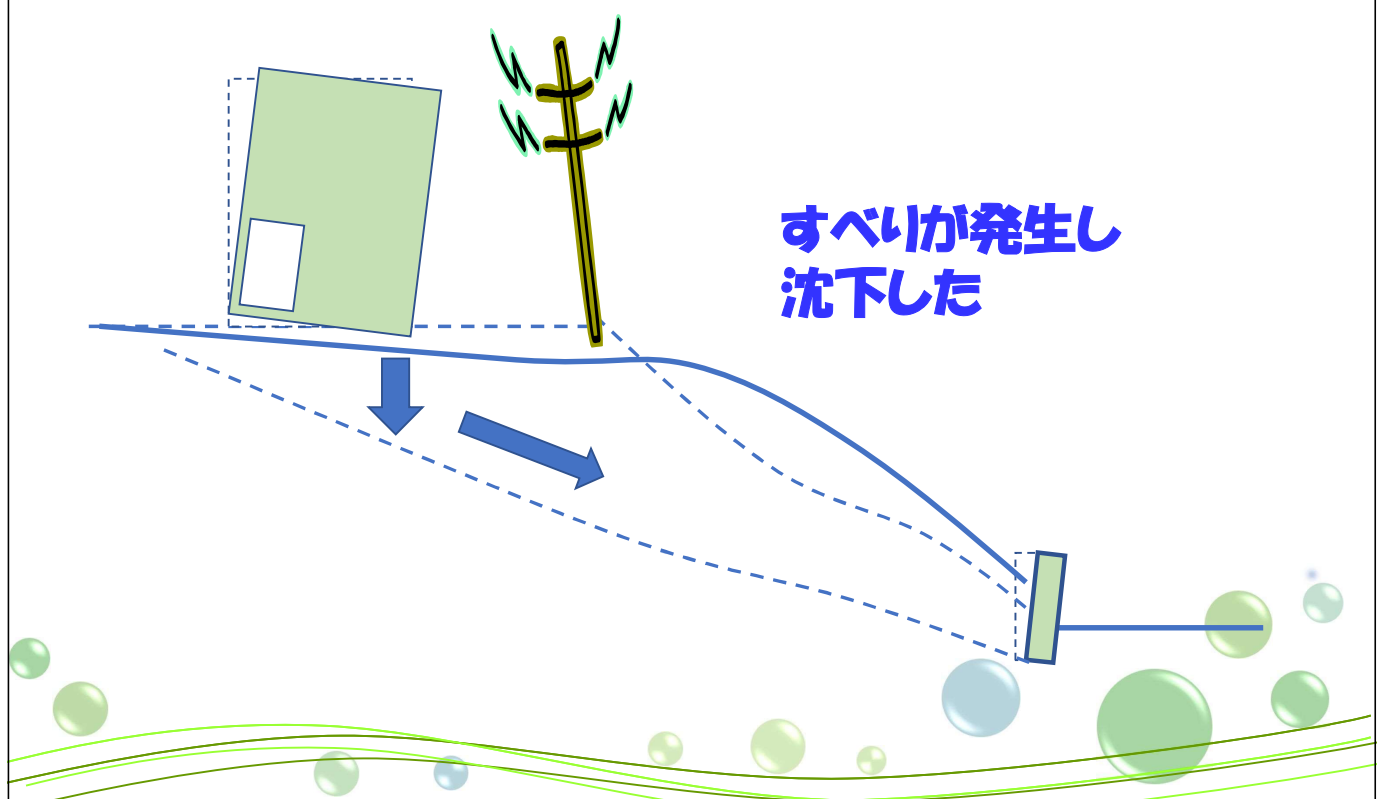
変状形態のチェック (複数可)	小		中		大	
	1 3cm未満又は単数	2 3~15cm未満又は複 数	3 15cm以上又は全面	4 30cm以上又は1宅地 ごとのり面等面積 に対し50%以上	5	6
1 クラック (幅)	3cm未満又は単数	3 3~15cm未満又は複 数	4 15cm以上又は全面	5	6	7
2 ハラミ・盤ぶくれ (隆起量・規模)	10cm未満又は1宅地ご とのり面等面積に対し 10%未満	3 10~30cm未満又は1 宅地ごとのり面等 面積に対し10~50% 未満	4 30cm以上又は1宅地 ごとのり面等面積 に対し50%以上	5	6	7
3 ガリ・浸食	クラックなどが誘因と なって雨滴による浸食 が現れはじめた段階。	6 のり面の表土が崩れ に陥没するなど放置 されていると被害が広 がるおそれのあるも の。	7 洞穴状や亀裂状にガ リが進展して家屋の 基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8	9	10
4 滑落・崩壊	部分的な表層すべり、 又はのり面上部の小崩 壊。	7 表層すべりが進んで えぐり取られたよう な状態。放置すると 拡大するおそれのある もの、又はのり面 中部までの崩壊。	8 全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9	10	11
5 のり面保護工の変状 (植生工は除く)	例えば、のり枠の間詰 め陥没。又はコンク リート吹付工にわずか にフィッシュクランク が見られるが吹付工の ずれは認められない程 度。	7 例えば、のり枠の部 分的な破損。又はコ ンクリート吹付工の クラック部分で陥没・ ずれが見受けられ る。	8 例えば、のり枠の浮 上り破損。又はコン クリート吹付工のラ ス金網が露出し、コ ンクリート吹付面にも 破損が見受けられ る。	9	10	11
6 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠 損がある。又は、天端 背面、舗装面にクラ ックが見られる。	3 左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5 排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7	8	9
7 のり面内の水道管等の破 壊	破裂して水が流出している。					8
8 湧水、落石・転石	☐ 無 ☐ 有 → +1 点 (上の点数に1点を加える)					
被害の判定値 (上記の最大値を被害程度 の点数とする)	点					☆被害程度の点数と危険度判定☆ 小被害: 1~3 点 (当面は防災上問題なし) 中被害: 4~7 点 (制限付き立入、進行していれば避難) 大被害: 8~10 点 (危険、要避難、立入禁止)
危険度判定	☐ 大 ☐ 中 ☐ 小	大被害: 8~10 点 (危険、要避難、立入禁止)				
所見 (記入者の意見)	緊急度 ☐ 大 ☐ 中 ☐ 小 (人命・財産・交通の3点を判断基準とする。) 拡大の見込 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 判断不可 (備考:)					



状況を図に落としてみます。



地震後は……



のり面自然斜面の危険度評価

ここでの変状は、「**滑落・崩壊**」
規模は小さいが
全面的なすべり
程度 → 大

15

判定マ-50 表3-34 のり面自然斜面配点表

程度	のり面自然斜面の配点表		
	小	中	大
1クラック	1	2	3
2ハミ・盤ぶくれ	3	4	5
3ガリー浸食	6	7	8
4滑落・崩落	7	8	9
5のり面保護工の変状	7	8	9
6排水施設の変状	3	5	7
7のり面内の水道管等の破裂			8
8湧水・落石・転石	湧水・落石がなく加算点無し		
最大値	9		

変状点の最大値を抽出する → 9点

被害の評価

- 変状点の合計値

9

- 点数範囲

8~10点

- 判定区分

大

変状等が特に顕著で危険である。

立ち入り禁止措置が必要。

危険宅地

17

- 宅地の側面での判定 4点

→ 危険度区分 中

要注意宅地

- のり面の側面での判定 9点

→ 危険度区分 大

危険宅地

このように、同じ宅地でも評価するもので危険度の内容が変わります。

危険度判定票を作成してみよう

宅地（液状化）編

43

まず周囲を眺めます。



路面舗装変状
波打つ不同沈下



応急復旧
で舗装をはぎ
整地していた

大通りの歩道に噴砂跡……



**全域的な
噴砂現象です**

**下流側に
水平移動**

**建築の応急危
険度は
「危険」**

**家屋は
倒壊寸前**



家屋の裏側は
大きな陥没
深さ50cm

液状化による
隆起 30cm程度



液状化による
沈下 20cm程度

(様式-2)

調査票		宅地地盤のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票	
調査日時	年 月 日 時	調査番号	
被害発生場所		都道府県 市郡 区町村	
地区団地		丁目	番 号
所有者・管理者氏名	記入者氏名	TEL:	
所有者・管理者の連絡先 TEL:	居住者への説明	☐ 済 ☐ 未了 ☐ 居住者不在 ☐ 老人独居住宅 ☐ 緊急措置 ☐ 済 ☐ 未了	
宅地地盤 1.クラック 2.陥没 3.沈下 4.段差 5.隆起 のり面・自然斜面 1.クラック 2-1.ハラミ 2-2.盤割れ 3.切り浸食 4-1.滑落 4-2.崩壊			
5.斜面保護工変状 6.排水施設の変状			
被災写真の有無 ☐ 無 ☐ 有		写真番号	
特記事項			

宅地地盤

手引き-16

手引き-17

のり面・自然斜面の基礎的条件									
地盤	岩	□軟岩 □硬岩 □不明	オーバーハング	□無 □有					
	土 砂	□砂質土 □礫質土 □粘性土 □不明	排水施設	□無 □有 (のり肩、小段排水)					
のり面高	最大高	m (平均高 m)	のり面保護工	□無 □植生工 □構造物					
(場合のり面は擁壁高含)	うち擁壁高さ	m	擁壁配置	□のり面の上部 □のり面の中部					
のり面勾配	度			□のり面の下部 □全面					
のり長さ	m		家屋の有無	上部 □有 □無 ; 下部 □有 □無					
変形状態と配点表									
宅地地盤	変形状態のチェック(複数可)		小	中	大				
	1 クラック(幅)	3cm未満	1	3~15cm未満又は複数	2	15cm以上又は全面	3	5	
	2 陥没(深さ)	20cm未満	2	20cm~50cm未満	4	50cm以上	6		
	3 沈下(沈下量・規模)	10cm未満	2	10~25cm未満	4	25cm以上	7		
	4 段差(段差量)	20cm未満	3	20~50cm未満	5	50cm以上	8		
	5 隆起(隆起量・規模)	20cm未満	7	20~50cm未満	8	50cm以上	9		
	6 湧水、噴砂	□無 □有→+1点 (上の点数に1点を加える)							
	変形状態のチェック(複数可)		小	中	大				
	1 クラック(幅)	3cm未満又は単数	1	3~15cm未満又は複数	2	15cm以上又は全面	3		
	2 ハラミ・盤ぶくれ(隆起量・規模)	10cm未満又は1宅地ごとのり面等面積に対し10%未満	3	10~30cm未満又は1宅地ごとのり面等面積に対し10~50%未満	4	30cm以上又は1宅地ごとのり面等面積に対し50%以上	5		
3 ガリイ侵食	クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた段階。	6	のり面の表土が雨裂に陥没するなど放置していると被害が広がるおそれのあるもの、又はのり面中部までの崩壊。	7	洞穴状や亀裂状にガリイが進展して家屋の基礎やのり面等の下側に被害を及ぼすような状態。	8			
4 滑落・崩壊	部分的な表層すべり、又はのり面上部の小崩壊。	7	表層すべりが進んでえぐり取られたような状態。放置すると拡大するおそれのあるもの、又はのり面中部までの崩壊。	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊。	9			
5 のり面保護工の変状(植生工は除く)	例えば、のり枠の間詰め陥没。又はコンクリート吹付工にわずかにランションクラックが見られるが吹付工のすれは認められない程度。	7	例えば、のり枠の部分陥没。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・すれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。又はコンクリート吹付工のラス金網が露出し、コンクリート吹付面にも破損が見受けられる。	9			
6 排水施設の変状	天端排水溝にすれ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。	3	左に加え、のり面のクラック、又は目地からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下するなど、排水機能が失われている。	7			
7 のり面内の水道管等の破損	破損して水が漏出している。						8		
8 湧水、落石・転石	□無 □有→+1点 (上の点数に1点を加える)								
被害の判定値(上記の最大値を被害程度の点数とする)		点		☆被害程度の点数と危険度判定☆ 小被害: 1~3点(当面は防災上問題なし) 中被害: 4~7点(制限付き立入、進行していれば避難) 大被害: 8~10点(危険、要避難、立入禁止)					
危険度判定		□大 □中 □小							
所見(記入者の意見)		緊急度 □大 □中 □小	(人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)						
拡大の見込		□有 □無 □判断不可 (備考:)							

25

宅地地盤の危険度評価

概況は、家屋が水平移動している
家屋が地震動で倒壊寸前
沈下 20cm → 中
陥没 50cm → 大
隆起 30cm → 中
周辺全体が 液状化エリア

宅地地盤の危険度評価／隆起・沈下・液状化

表3-9 宅地地盤の配点表

程度	宅地地盤の配点表		
	小	中	大
1クラック(幅)	1	3	5
2陥没(深さ)	2	4	6
3沈下(沈下量・規模)	2	4	7
4段差(段差量)	3	5	8
5隆起(隆起量・規模)	7	8	9
6湧水・噴砂	全体的に液状化エリア 1点加算		
合計値	9		

変状点の最大値を抽出する → 8点

被害の評価

・変状点の合計値

9

・点数範囲

8～10点

・判定区分

大

変状等が特に顕著で危険である。

避難立入禁止措置が必要。

危険宅地

危険度判定票を作成してみよう

擁壁編

29

①



②



③



④



30

調 査 票		調査日時		年	月	日	調査番号	
		地震名又は降雨災害名						
被害発生場所		都 道 府 県			市 郡		区 町 村	
		地区 団地			丁目		番 号	
所有者・管理者氏名		記入者氏名			TEL：			
所有者・管理者の連絡先		居住者への説明			☐ 済 ☐ 未了 ☐ 被災無 ☐ 簡易記録			
TEL：					☐ 居住者不在 ☐ 老人独居住宅			
＜ 被災状況図 ＞						応急措置 ☐ 済 ☐ 未了 ☐ 被災無 ☐ 簡易記録		
1.クラック	2.水平移動	3-1.不同沈下	3-2.目地の開き	4.ハレミ	5-1.傾斜	5-2.倒壊	6.壁面の折損	7.崩壊
8.張出し床板の壁の支柱の損傷		9.基礎及び基礎地盤の被害		10.排水施設の変状		建物・道路との位置関係(基礎点) 		
※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。								
[平面図]				[断面図]				
被災写真の有無 ☐ 無 ☐ 有一写真番号 []								
特記事項								

採掘の基礎的 条件	採掘 の 種類	☐ コンクリート系舗装 ☐ 道路下層 ☐ もたれ式 ☐ その他	☐ 直方式 ☐ その他	☐ 増幅基礎 ☐ 増幅部 ☐ 全増幅部 ☐ 上部高 ☐ 下部高 ☐ m：下部高 ☐ m	増幅部高 増幅部高 全増幅部高 上部高 下部高 上部高 m：下部高 m																																																																		
		☐ 縦石積層壁 ☐ その他	☐ アブリキヤ ☐ コンクリートロック	☐ 段削壁 ☐ 掘削の位置条件 ☐ 高又は ☐ 切土・盛土工 ☐ 軟弱地層土 ☐ 他 ☐ 不明	☐ 掘削壁 ☐ 高又は ☐ 切土・盛土工 ☐ 軟弱地層土 ☐ 他 ☐ 不明																																																																		
基礎 点	基礎 点	☐ 乾燥 ☐ 潤滑 ☐ にじみ出し、流出 ☐ 水柱あり、大規模な液状化、表面水の浸透阻止 ☐ 水柱あり、大規模な液状化が浸透しやすい ☐ 水柱無量、あっても散・湧出が不適当 ☐ 15m以下 ☐ 1m<中<3m ☐ 3m<中<4m ☐ 4m<中<5m ☐ 5m<中	☐ 影響範囲に液状化または液漏がある ☐ 影響範囲に液状化または液漏がない	☐ 基礎点計 ①～②・③	☐ 基礎点計 ①～②・③																																																																		
		☐ ①湧水 ☐ ②排水施設 ☐ ③高さ																																																																					
区分	項目	小		中		大																																																																	
		コンテ	縦	横	2	変出	変異	コンテ	縦	横	2	変出	変異	コンテ	縦	横	2	変出	変異																																																				
採掘 形態 と 基礎 点	基礎 点	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び基礎地盤の被害 ☐ 10 排水施設の変状 ☐ 11 側面滑動の水道管等破毀	☐ 1 クラック ☐ 2 水平移動 ☐ 3 不同位下・日地の開き ☐ 4 ハラミ ☐ 5 傾斜・傾倒 ☐ 6 崩壊の折屈 ☐ 7 崩壊 ☐ 8 崩壊し出し床面傾斜の発生の懸念 ☐ 9 基礎及び

(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

ブルーシートで措置されているため

写真・図より

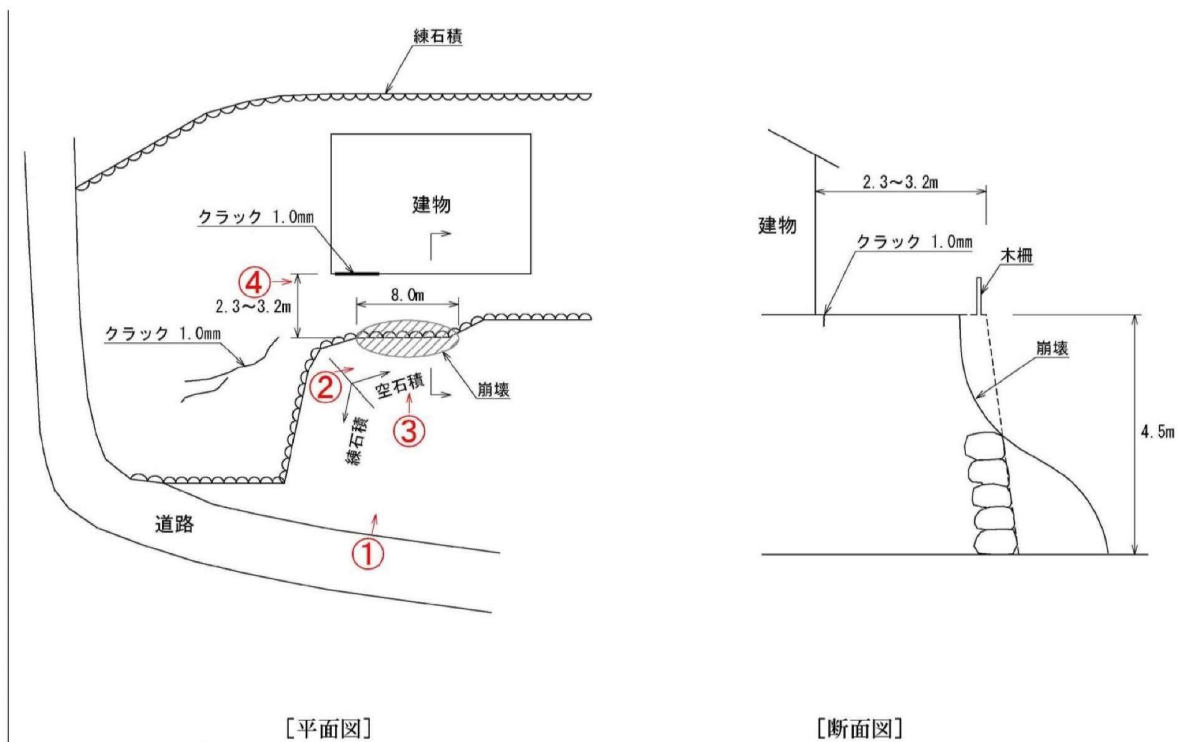
＜被災状況図＞

☒ 緊急措置済 ☐ 未了
☐ 被災無 ☐ 簡易記録

1.クラック	2.水平移動	3-1.不同沈下	3-2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾斜	5-2.倒壊	6.擁壁の折損	7.崩壊
8.掘出し床版付擁壁の支柱の損傷	9.基礎及び基礎地盤の被害	10.排水施設の変状	建物・道路との位置関係(基礎点)					

※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。

ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。



被災写真の有無	☐ 無	☒ 有→写真番号 [7-①~④]
特記事項		

33

擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	擁壁の種類		擁壁の基礎的条件		擁壁の基礎的条件	
		□コンクリート系擁壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他	□重力式	□増積み擁壁	空石積は構造的に 水抜孔の効果がある為、 天端状況で判断。	
			□場所打ち □プレキャスト	□二段擁壁			
			□間地石 □その他[]	□玉石積 □くずれ石積		□張出し床版付擁壁 □その他[]	上部高 m、下部高 m
□練石積擁壁		□間地石 □その他[]	□コンクリートブロック	擁壁の設置条件	□切土・盛土境 □軟弱地盤上 □他 □不明		
☑空石積擁壁		□玉石積 ☑間地石 □その他[]	□くずれ石積	擁壁の勾配	度 又は (1 :)		
基礎点	基礎点	基礎点		基礎点		基礎点	
		①湧水		②排水施設		③高さ	
		乾燥		湿潤		H ≤ 1m	
		にじみ出し、流出		水抜孔有、天端排水溝有、表面水の浸透阻止		1m < H ≤ 3m	
		写真より		水抜孔有、天端は表面水が浸透しやすい		3m < H ≤ 4m	
		0		0.4		4m < H ≤ 5m	
		0.4		0.8		5m < H	
		0.2		0.4			
		0.8		0.2			
		0.2		0.6			
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					
0.6		0.8					
0.4		0.2					
0.8		0.4					
0.2		0.6					
0.4		0.8					
0.2		0.4					

34

区分	項目	小						中						大					
		コンクリ	鉄筋	増設	2段	張出	空積	コンクリ	鉄筋	増設	2段	張出	空積	コンクリ	鉄筋	増設	2段	張出	空積
変状形態と変状点	1 クラック	1	2	3	4	5		2.5	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	
	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	
	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷					7						9						10	
	9 基礎及び基礎地盤の被害											10							7
	10 排水施設の変状											5							
	11 擁壁前面の水道管等破裂											10							
変状の程度	項目/程度	小						中						大					
	1 クラック幅	2mm未満のクラックはあるが、機能上の支障なし(コンクリート系擁壁の場合2mm未満)						2mm~20mm未満(コンクリート系擁壁の場合2mm~5mm未満)						20mm以上(コンクリート系擁壁の場合5mm以上)					
	2 水平移動(伸縮目地前後のずれ)	5mm未満の隙間変位がある。						5mm~30mm未満の隙間変位がある						50mm以上の隙間変位がある					
	3 不同沈下・目地の開き(目地上下・左右の開き)	5mm未満の目地上下のずれ又は目地の開きがある。						5mm~50mm未満の目地の上下のずれ又は目地の開きがある。						50mm以上の目地の上下のずれ又は目地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。					
	4 ハラミ(デシジョンクラック・ずれ・中抜け)	小規模のハラミ及び中抜け積石が1~2個抜け落ちる						宅地地盤にデシジョンクラック無し(円弧すべりのおそれ無し)						宅地地盤にデシジョンクラック有り(円弧すべりのおそれ有り)					
	5 傾斜・倒壊	擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm未満の傾斜)						擁壁が前面地盤に対し垂直(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm以上の傾斜)						擁壁が前面地盤に対し垂直(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm以上の傾斜)					
	6 擁壁の折損(横・ななめひびわれから起きるもの。はらんでいるが曲線的でなく、クラックを境に鈍角に折れている)	クラックを境にわずかに角度をなしている。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわずかに前傾している。)						クラックを境に明らかに角度をなしており、抜け石があり、近頃コンクリートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)						一見して大であると判るもの。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前傾している。又は、1mmでも剪断破壊があり後傾している。)					
	7 崩壊	中間辺りから上が滑っている。						基礎部を残して滑っている。						機能を果たしていない。					
	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷	支柱にひびが入っている。						支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。						支柱の剪断破壊。					
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。																	
	10 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。						左に加え擁壁のクラック又は目地からの湧水がある。						水抜孔の詰まり、破損があり、排水機能が失われている。					
11 擁壁前面の水道管等破裂	破裂して水が漏出している。																		
被害の判定値		基礎点 + 変状点 1.0 + 9.0 = 10.0 点																	
危険度判定		☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害: 0点(防災上問題無し) 小被害: 1~4.5点未満(当面は防災上問題無し) 中被害: 4.5点~8.5点未満(制限付き立入、進行していれば避難) 大被害: 8.5点~(危険、要避難、立入禁止)																	
所見記入者の意見		緊急度 大 中 小 拡大の見込 有 無 判断不可																	

写真・図より

(様式-1) 擁壁被害状況調査・危険度判定票

調査票		調査日時		調査番号	
被害発生場所		都道府県		市区町村	
所有者・管理者氏名		地区		丁目番地	
所有者・管理者の連絡先		記入者氏名		TEL:	
TEL:		居住者への説明		□済 □未済 □居住者不在 □老人単居住宅	
<被災状況図> 1.クラック 2.水平移動 3-1.不同沈下 3-2.目地の開き 4.ハラミ 5-1.傾斜 5-2.倒壊 6.擁壁の折損 7.崩壊					
8.張り出し床板付擁壁の支柱の損傷 9.基礎及び基礎地盤の被害 10.排水施設の変状					
建物・道路との位置関係(基礎点) 影響範囲外() 影響範囲内()					
※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全写真撮影する。					
[平面図] 			[断面図] 		
被災写真の有無 □無 □有(一写真番号 [7-①~④])					
特記事項 石積崩壊による家屋損傷の恐れあり					

区分	項目	小						中						大					
		コンクリ	鉄筋	増設	2段	張出	空積	コンクリ	鉄筋	増設	2段	張出	空積	コンクリ	鉄筋	増設	2段	張出	空積
変状形態と変状点	1 クラック	1	2	3	4	5		2.5	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	
	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	
	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷					7						9						10	
	9 基礎及び基礎地盤の被害											10							7
	10 排水施設の変状											5							
	11 擁壁前面の水道管等破裂											10							
変状の程度	項目/程度	小						中						大					
	1 クラック幅	3mm未満のクラックはあるが、機能上の支障なし(コンクリート系擁壁の場合2mm未満)						2mm~20mm未満(コンクリート系擁壁の場合2mm~5mm未満)						20mm以上(コンクリート系擁壁の場合5mm以上)					
	2 水平移動(伸縮目地前後のずれ)	5mm未満の隙間変位がある。						5mm~50mm未満の隙間変位がある						50mm以上の隙間変位がある					
	3 不同沈下・目地の開き(目地上下・左右の開き)	5mm未満の目地上下のずれ又は目地の開きがある。						5mm~50mm未満の目地の上下のずれ又は目地の開きがある。						50mm以上の目地の上下のずれ又は目地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。					
	4 ハラミ(デシジョンクラック・ずれ・中抜け)	小規模のハラミ及び中抜け積石が1~2個抜け落ちる						宅地地盤にデシジョンクラック無し(円弧すべりのおそれ無し)						宅地地盤にデシジョンクラック有り(円弧すべりのおそれ有り)					
	5 傾斜・倒壊	擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm未満の傾斜)						擁壁が前面地盤に対し垂直(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm以上の傾斜)						擁壁が前面地盤に対し垂直(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm以上の傾斜)					
	6 擁壁の折損(横・ななめひびわれから起きるもの。はらんでいるが曲線的でなく、クラックを境に鈍角に折れている)	クラックを境にわずかに角度をなしている。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわずかに前傾している。)						クラックを境に明らかに角度をなしており、抜け石があり、近頃コンクリートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)						一見して大であると判るもの。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前傾している。又は、1mmでも剪断破壊があり後傾している。)					
	7 崩壊	中間辺りから上が滑っている。						基礎部を残して滑っている。						機能を果たしていない。					
	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷	支柱にひびが入っている。						支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。						支柱の剪断破壊。					
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。																	
	10 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。						左に加え擁壁のクラック又は目地からの湧水がある。						水抜孔の詰まり、破損があり、排水機能が失われている。					
11 擁壁前面の水道管等破裂	破裂して水が漏出している。																		
被害の判定値		基礎点 + 被害点 1.0 + 9.0 = 10.0 点																	
危険度判定		☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害: 0点(防災上問題無し) 小被害: 1~4.5点未満(当面は防災上問題無し) 中被害: 4.5点~8.5点未満(制限付き立入、進行していれば避難) 大被害: 8.5点~(危険、要避難、立入禁止)																	
所見記入者の意見		緊急度 大 中 小 拡大の見込 有 無 判断不可																	

1

危険度判定票を作成してみよう

宅地編／擁壁編

37

①



①近



②



②近



③



④



⑤



⑥



39

(様式一)擁壁被害状況調査・危険度判定票

調査票		調査日時	年	月	日	時	調査番号
被害発生場所		都道府県 市 市 区 町 村					
所有者・管理者氏名		地区 団地 丁目 番 号					
所有者・管理者の連絡先		起業者氏名 TEL: 居住者への説明 □済 □未了 □居住者不在 □老人独居住宅					
① 初災 ② 災 ③ 災 ④ 災 ⑤ 災 ⑥ 災 ⑦ 災 ⑧ 災 ⑨ 災 ⑩ 災							
1. クラック 2. 水平移動 3-1. 不同沈下 3-2. 目地の開き 4. ハラミ 5-1. 傾斜 5-2. 倒壊 6. 擁壁の折損 7. 崩壊							
8. 張り出し床版擁壁の柱の損傷 9. 基礎及び基礎地盤の被害 10. 排水施設の変状							
建物・道路との位置関係(基礎点)							
※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全写真撮影する。							
[平面図]				[断面図]			
被災写真の有無 □無 □有一写真番号 []							
特記事項							

擁壁の基礎的 条件	□コンクリート系擁壁	□重力式	□増築み擁壁	増築部分 擁壁部分 全増築高	m	増築高	m
	□コンクリート系擁壁	□重力式	□増築み擁壁	増築部分 擁壁部分 全増築高	m	増築高	m
基礎 点	①湧水	乾壁	0	0	0.1	0.2	0.3
	②排水施設	水抜き孔、天端排水溝有、表面水の浸透防止	0	0	0.1	0.2	0.3
区分	③高さ	水抜き孔無、あっても数・寸法が不適当	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
	④傾斜	傾斜角	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
状況 の 概 要 説 明	1. クラック	クラックの種類	クラックの種類	クラックの種類	クラックの種類	クラックの種類	クラックの種類
	2. 水平移動	水平移動の種類	水平移動の種類	水平移動の種類	水平移動の種類	水平移動の種類	水平移動の種類
状況 の 概 要 説 明	3. 不同沈下・目地の開き	不同沈下・目地の開き	不同沈下・目地の開き	不同沈下・目地の開き	不同沈下・目地の開き	不同沈下・目地の開き	不同沈下・目地の開き
	4. ハラミ	ハラミの種類	ハラミの種類	ハラミの種類	ハラミの種類	ハラミの種類	ハラミの種類
状況 の 概 要 説 明	5. 傾斜・倒壊	傾斜・倒壊の種類	傾斜・倒壊の種類	傾斜・倒壊の種類	傾斜・倒壊の種類	傾斜・倒壊の種類	傾斜・倒壊の種類
	6. 擁壁の折損	擁壁の折損の種類	擁壁の折損の種類	擁壁の折損の種類	擁壁の折損の種類	擁壁の折損の種類	擁壁の折損の種類
状況 の 概 要 説 明	7. 崩壊	崩壊の種類	崩壊の種類	崩壊の種類	崩壊の種類	崩壊の種類	崩壊の種類
	8. 張り出し床版擁壁の柱の損傷	張り出し床版擁壁の柱の損傷	張り出し床版擁壁の柱の損傷	張り出し床版擁壁の柱の損傷	張り出し床版擁壁の柱の損傷	張り出し床版擁壁の柱の損傷	張り出し床版擁壁の柱の損傷
状況 の 概 要 説 明	9. 基礎及び基礎地盤の被害	基礎及び基礎地盤の被害	基礎及び基礎地盤の被害	基礎及び基礎地盤の被害	基礎及び基礎地盤の被害	基礎及び基礎地盤の被害	基礎及び基礎地盤の被害
	10. 排水施設の変状	排水施設の変状	排水施設の変状	排水施設の変状	排水施設の変状	排水施設の変状	排水施設の変状
状況 の 概 要 説 明	11. 擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損
	12. 擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損	擁壁前面の水道管等破損
状況 の 概 要 説 明	被害の判定値	被害の判定値	被害の判定値	被害の判定値	被害の判定値	被害の判定値	被害の判定値
	危険度判定	危険度判定	危険度判定	危険度判定	危険度判定	危険度判定	危険度判定
状況 の 概 要 説 明	所見記入者の意見	所見記入者の意見	所見記入者の意見	所見記入者の意見	所見記入者の意見	所見記入者の意見	所見記入者の意見
	記入者の見込	記入者の見込	記入者の見込	記入者の見込	記入者の見込	記入者の見込	記入者の見込

40

(様式－１)擁壁被害状況調査・危険度判定票

調 査 票		調査日時	年	月	日	時	調査番号	
		地震名又は降雨災害名						
被害発生場所	都道府県		市郡		区町村			
	地区 団地		丁目		番 号			
所有者・管理者氏名		記入者氏名		TEL：				
所有者・管理者の連絡先		TEL：		居住者への説明		☐ 済 ☐ 未了 ☐ 居住者不在 ☐ 老人独居住宅		
写真・図より		<被災状況図>				応急措置 ☐ 済 ☒ 未了 ☐ 被災無 ☐ 簡易記録		
1.クラック	2.水平移動	3-1.不同沈下	3-2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾斜	5-2.倒壊	6.擁壁の折損	7.崩壊
8.張出し床版付擁壁の支柱の損傷		9.基礎及び基礎地盤の被害		10.排水施設の変状		建物・道路との位置関係(基礎点) 		
※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。								

41

[平面図]

[断面図]

被災写真の有無	☐ 無 ☒ 有→写真番号 [14-①～③]
特記事項	

42



擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	☒ コンクリート系擁壁	☒ L(逆T)型 ☐ 重力式 ☐ もたれ式 ☐ その他	☐ 増積み擁壁	増積部分 擁壁部分 全擁壁高	m 増設高 m
		☐ 練石積擁壁	☒ 場所打ち ☐ プレキャスト ☐ 間地石 ☐ コンクリートブロック ☐ その他	☐ 二段擁壁	上部 下部 上部高 m ; 下部高 m	m
		☐ 空石積擁壁	☐ 玉石積 ☐ くずれ石積 ☐ 間地石 ☐ その他	☐ 張出し床版付擁壁	☐ その他	
		擁壁の設置条件		☐ 切土・盛土境 ☐ 軟弱地盤上 ☐ 他 ☐ 不明		
		擁壁の勾配		度 又は (1 :)		
基礎点	①湧水	乾燥	☒ 影響範囲に建物または道路がある	0	0	基礎点計 ①+②+③ 0.2
		湿润	☐ 影響範囲に建物または道路がない(B)	0.4	0.2	
	②排水施設	にじみ出し、流出		0.8	0.4	
		水抜孔有、天端排水溝有、表面水の浸透防止		0	0	
		水抜孔有、天端は表面水が浸透しやすい		0.4	0.2	
	③高さ	水抜孔無、あっても数・寸法が不適当		0.8	0.4	
		H≤1m		0	0	
		1m<H≤3m	図より	0.2	0.1	
		3m<H≤4m		0.4	0.2	
		4m<H≤5m		0.6	0.3	
		5m<H		0.8	0.4	



区分	項目	小						中						大					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
変状形態と変状点	1 クラック	1	2	3	4	5	6	25	35	4	5	7	7	4	5	6	7	8	9
	2 水浸移動	2	25	35	4	6	6	35	4	45	5	7	7	5	55	6	7	9	9
	3 不平等下・土地の開き	3	35	4	5	7		45	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
	4 ハラミ		45	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
	5 傾斜・倒壊	5	55	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
	6 擁壁の折損	6	65	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	9			10	10	10	10	10
	8 張り出し床版付擁壁の支持崩壊					7						9						10	
	9 基礎及び基礎地盤の被害																		
	10 排水施設の変状			3						5						7			
	11 擁壁前面の水道管等破損									10									
大・中・小の概要説明	1 クラック幅	2mm未満のクラックはあるが、機能上の支障なし(コンクリート系擁壁の場合2mm未満、5mm未満の縦横変位がある。)						2mm~20mm未満(コンクリート系擁壁の場合2mm~5mm~50mm未満の縦横変位がある。)						写真・図より					
	2 水浸移動(付着土前後のずれ)	5mm未満の付着土前後のずれ						5mm~50mm未満の付着土前後のずれ						50mm以上の付着土前後のずれ					
	3 不平等下・土地の開き(土地上下・左右の開き)	5mm未満の土地上下のずれ又は土地の開きがある。						5mm~50mm未満の土地上下のずれ又は土地の開きがある。						50mm以上の土地上下のずれ又は土地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。					
	4 ハラミ(デンプンクラック・ずれ・中絶カ)	小規模のハラミ及び中絶カ(積石が1~2個ほど落ちる)						その他地盤にデンプンクラック無し(積石が1個以上落ちる)						その他地盤にデンプンクラック有り(積石が1個以上落ちる)					
	5 傾斜・倒壊	擁壁前面地盤面に対して垂直以下(コンクリート系擁壁の場合：大規模50mm未満の傾斜)						擁壁前面地盤面に対して垂直以上(コンクリート系擁壁の場合：大規模50mm以上の傾斜)						擁壁前面地盤面に対して垂直以上(コンクリート系擁壁の場合：大規模50mm以上の傾斜)					
	6 擁壁の折損(横・縦・斜めいずれから起きるもの。はらんでくるが折損がなく、クラックを境に割れている。)	クラックを境にわずかに角度をなしている。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわずかに割れている。)						クラックを境に明らかに角度をなしており、抜かすがあり、裏面のコンクリートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)						一見して大であると判るもの。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。又は1mmでも劣化部があり後傾している。)					
	7 崩壊	中絶カから上が割れている。						基礎部を残して割れている。						機能を残していない。					
	8 張り出し床版付擁壁の支持崩壊	支持面が崩壊している。						支持面が崩壊している。						支持面が崩壊している。					
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。						大規模な沈下やクラックが生じている。						大規模な沈下やクラックが生じている。					
	10 排水施設の変状	大規模な沈下やクラックが生じている。						大規模な沈下やクラックが生じている。						大規模な沈下やクラックが生じている。					
	11 擁壁前面の水道管等破損	大規模な沈下やクラックが生じている。						大規模な沈下やクラックが生じている。						大規模な沈下やクラックが生じている。					
被害の判定値		0.2 + 6.0 = 6.2 点 ※基礎点に減点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被災点の記載無し																	
危険度判定		☐大 ☒中 ☐小 ☐無 ☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害： 0 点(防災上問題無し) 小被害： 1~4.5 点未満 (当面は防災上問題無し) 中被害： 4.5 点~8.5 点未満 (制限付き立入、進行していれば避難) 大被害： 8.5 点~(危険、要避難、立入禁止)																	
所出記入者の意見		☐ 大 ☒ 中 ☐ 小 ☐ 無 (人命・財産・交通の3点を判定基準とする。)																	
危険な箇所があるか		☒ 有 ☐ 無 ☐ 判断不可 (備考：)																	

調 査 票	調査日時	年	月	日	時	調査番号
	地震名又は降雨災害名					
被害発生場所	都道府県		市 郡		区 町 村	
	地区 地帯		丁目		番 号	
所有者・管理者氏名	記入者氏名					
所有者・管理者の連絡先	TEL: _____					
	居住者への説明		☐ 済 ☐ 未了 ☐ 居住者不在 ☐ 老人独居住宅			
<被災状況図>						
1.クラック 2.水平移動 3-1.不同沈下 3-2.開口部へ傾き 4.ハラミ 5-1.傾斜 5-2.倒壊 6.擁壁の折損 7.崩壊 8.突出し床面材等の柱の損傷 9.基礎及び基礎地盤の被害 10.排水施設の状況						
建物・道路との位置関係(基礎点)						
※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。						
[平面図] [断面図]						
被災写真の有無	☐ 無 ☒ 有→写真番号 [14-①~③]					

[illegible]

調 査 票		年 月 日		時 調査番号						
調査日時		地震名又は降雨災害名								
被害発生場所		都 道 府 県		市 郡 区 町 村						
所有者・管理者氏名		地区 団地		丁目 番 号						
所有者・管理者の連絡先		記入者氏名		TEL:						
TEL:		居住者への説明		☐ 済 ☐ 未了 ☐ 居住者不在 ☐ 老人独居住宅						
＜被災状況図＞				応急措置 ☐ 済 ☐ 未了 ☐ 被災無 ☐ 簡易記録						
宅 地 地 盤			の り 面 ・ 自 然 斜 面							
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.クラック	2-1.ハズレ	2-2.盤ぶくれ	3.カリ-侵食	4-1.滑落	4-2.崩壊
5.のり面保工変状			6.排水施設の変状			※宅地地盤・宅地のり面の簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができます。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。				
保内土砂堆出 (特注より)										
[平面図]						[断面図]				
被災写真の有無						☐ 無 ☐ 有→写真番号				
[						]				
特 記 事 項										

のり面・自然斜面の基礎条件									
地盤	岩	□軟岩 □硬岩 □不明	オーバハング		□無 □有				
	土 砂	□砂質土 □礫質土 □粘性土 □不明	排水施設		□無 □有のり面、小段排水				
のり面高 (両側のり面は擁壁高台)	最大高	m(平均高)	のり面保護工		□無 □有のり面、□擁壁物				
	(うち擁壁高)	m	擁壁配置		□無 ① 傾面上部 □のり面の中部 □のり面の下部 □全面				
のり面勾配	度		家屋の有無		上部 □有 □無； 下部 □有 □無				
のり長さ	m								
変 状 形 態 と 配 点 表									
定 地 地 盤	変形状態のチェック(数取可)	小		中		大			
	1 クラック(幅)	3 cm未満	1	3～15cm未満又は複数	3	15cm以上又は全面	5		
	2 陥没(深さ)	20 cm未満	2	20～50 cm未満	4	50 cm以上	6		
	3 沈下(沈下量)	10 cm未満	2	10～25 cm未満	4	25 cm以上	7		
	4 段差(段差高)	20 cm未満	3	20～50 cm未満	5	50 cm以上	8		
	5 隆起(隆起高)	20 cm未満	7	20～50 cm未満	8	50 cm以上	9		
	6 湧水、噴砂	□無 □有→1 点(上の点数に1点加える)							
のり面・自然斜面	変形状態のチェック(数取可)	小		中		大			
	1 クラック(幅)	3 cm未満又は単数	1	3～15 cm未満又は複数	2	15 cm以上又は全面	3		
	2 ハラ(隆起量)	10 cm未満	3	10～30 cm未満	4	30 cm以上	5		
	3 ガリ・侵食	クラックなどが誘因となつて湧出による浸食が現れはじめた段階	6	のり面の表が巾割に陥没するまで放置しているとか被害が広がるおそれのあるもの	7	制穴状や歯状にガリが進展して家屋の基礎やのり面等での下側に被害を及ぼすような状態	8		
	4 滑落・崩壊	部分的な表層すべり、又はのり面上部の小崩壊	7	表層すべりが連んでえり取りかたまりとなる状態。放置するおそれのあるもの、又はのり面中部までの崩壊	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊	9		
	5 のり面保護工の変状(植生工は除く)	例えば、のり枠の間隙の陥没、又はコンクリート吹付工はコンクリート吹付工にもかかわらずトンシククラックが見られるが吹付工のすずりは認められない程度	7	例えば、のり枠の部分的な破損、又はコンクリート吹付工のクラック部分が陥没、すれが見受けられる	8	例えば、のり枠の浮上り破損、又はコンクリート吹付工のラシ金網が露出し、コンクリート吹付面にも破損が見受けられる	9		
	6 排水施設の変状	天端排水溝にすれ、天端がある、又は天端が腐、節状面がクラックが見られる	3	左に加え、のり面のクラック、又は地からの湧水がある	5	排水溝が破断沈下するなど、排水機能が失われている	7		
7 のり面内の水道管等の破裂	破裂して水が流出している。								
8 湧水、落石・転石	□無 □有→1 点(上の点数に1点加える)								
被害の発生箇所									
※見逃し(被害の発生箇所を正確に把握し、被害の発生を認識し)									
危険度判定									
□大 □中 □小 □無									
所定記入者の承認									
※所定記入者の署名と捺印を要する									
緊急度									
□大 □中 □小									
(人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)									
拡大の見込									
□有 □無 □判断不可 (備考)									

<被災状況図>										応急措置 ☐ 済 ☐ 未了 ☐ 被災無 ☐ 簡易記録	
宅地地盤					のり面・自然斜面						
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.クラック	2-1.ハミ	2-2.盤くずれ	3.ガリ・浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊	
5.のり面保護工変状		6.排水施設の変状		※宅地地盤・宅地のり面で簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。							
[平面図]					[断面図]						
被災写真の有無 ☐ 無 ☒ 有→写真番号 [14-④~⑥]											
特記事項											

47

のり面・自然斜面の基礎的条件							
地盤	岩	☐ 軟岩 ☐ 硬岩 ☐ 不明		オーバーハング	☐ 無 ☐ 有		
	土 砂	☐ 砂質土 ☐ 礫質土 ☐ 粘性土 ☐ 不明		排水施設	☐ 無 ☒ 有(のり肩、小段排水)		
のり面高 (複合のり面は擁壁高含)	最大高	m(平均高 m)		のり面保護工	☐ 無 ☐ 植生土 ☐ 構造物		
	(うち擁壁高)	m		擁壁配置	☐ のり面の上部 ☐ のり面の中部		
のり面勾配	度			☐ のり面の下部 ☐ 全面			
のり長さ	m			家屋の有無	上部 ☐ 有 ☐ 無 : 下部 ☐ 有 ☐ 無		
写真・図より 変状形態と配点表							
宅地地盤	変形状態のチェック(複数可)		小		中		大
	1 クラック(幅)	3 cm未満	1	3~15cm 未満又は複数	3	15cm 以上又は全面	5
	2 陥没(深さ)	20 cm未満	2	20~50 cm未満	4	50 cm以上	6
	3 沈下(沈下量)	10 cm未満	2	10~25 cm未満	4	25 cm以上	7
	4 段差(段差量)	20 cm未満	3	20~50 cm未満	5	50 cm以上	8
	5 隆起(隆起量)	20 cm未満	7	20~50 cm未満	8	50 cm以上	9
	6 湧水、噴砂	☒ 無 ☐ 有→+1点(上の点数に1点加える)					

48

50

のり面・自然斜面の基礎条件										
地盤	岩	☐ 軟岩 ☐ 硬岩 ☐ 不明	オーバーハング		☐ 無 ☐ 有					
	土 砂	☐ 砂質土 ☐ 礫質土 ☐ 粘性土 ☐ 不明	排水施設		☐ 無 ☐ 有(のり面、小段排水)					
のり面高	最大高	m(平均高)	m	のり面保護工	☐ 無 ☐ 植生工 ☐ 構造物					
(露出のり面は壁高希)	(うち隆壁高)	m	m	擁壁配置	☐ のり面の上部 ☐ のり面の中部					
のり面勾配	度			☐ のり面の下部 ☐ 全面						
のり長さ	m			家屋の有無	上部 ☐ 有 ☐ 無 下部 ☐ 有 ☐ 無					
変 状 形 態 と 配 点 表										
宅 地 地 盤	変形状態のチェック(複数可)	小		中		大				
	1 クラック(幅)	3 cm未満	1	3~15cm 未満又は 複数	3	15cm 以上又は全面	5			
	2 陥没(深さ)	20 cm未満	2	20~50 cm未満	4	50 cm以上	6			
	3 沈下(沈下量)	10 cm未満	2	10~25 cm未満	4	25 cm以上	7			
	4 段差(段差量)	20 cm未満	3	20~50 cm未満	5	50 cm以上	8			
	5 隆起(隆起量)	20 cm未満	7	20~50 cm未満	8	50 cm以上	9			
	6 湧水、噴砂	☐ 無 ☐ 有→1 点以上の点数に1点加える								
のり面・自然斜面	変形状態のチェック(複数可)	小		中		大				
	1 クラック(幅)	3 cm未満又は単数	1	3~15 cm 未満又は複 数	2	15 cm 以上又は全面	3			
	2 ハラミ(隆起量)	10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5			
	3 ガリー侵食	クラックなどが誘因 によって雨溜による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 しておそれのあるも の。	7	削伏状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下部に被害を及ぼす ような状態。	8			
	4 滑落・崩壊	部分的な表層すべ り、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表層すべりが全面で えぐり取られたよう な状態。放置すると 拡大するおそれある もの、又はのり面 中部までの崩壊。	8	全面的すべり崩壊で 、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含み 全崩壊。	9			
	5 のり面保護工の変状 (植生工は除く)	例えば、のり枠の間 詰り陥没、又はコン クリート吹付工にわ ずかにランションク ラックが見られるが 吹付工のすれは認め られない程度。	7	例えば、のり枠の部 分的な破損。又はコ ンクリート吹付工のラ ンションが露出し、コ ンクリート吹付工に も破損が見受けられ る。	8	例えば、のり枠の浮 上り破損。又はコン クリート吹付工のラ ンションが露出し、コ ンクリート吹付工に も破損が見受けられ る。	9			
	6 排水施設の变状	天端排水溝にすれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、のり面の クラック、又は地か らの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7			
	7 のり面内の水道管等の破裂	破裂して水が流出している。								
	8 湧水、落石・転石	☐ 無 ☐ 有→1 点以上の点数に1点加える								
	被害の判定値									
※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数										
危険度判定										
被害の判定値 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 7 点 ※被害程度の点数と危険度判定※ 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3 点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7 点(制限付き立入、通行しては避け避難) 大被害: 8~10 点(危険、要避難、立入禁止)										
危険度判定 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 大 中 小 無 ※被害程度の点数と危険度判定※ 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3 点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7 点(制限付き立入、通行しては避け避難) 大被害: 8~10 点(危険、要避難、立入禁止)										
所見記入者の意見 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 緊急度 大 中 小 無 ※被害程度の点数と危険度判定※ 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3 点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7 点(制限付き立入、通行しては避け避難) 大被害: 8~10 点(危険、要避難、立入禁止)										
所見記入者の意見 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 緊急度 大 中 小 無 ※被害程度の点数と危険度判定※ 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3 点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7 点(制限付き立入、通行しては避け避難) 大被害: 8~10 点(危険、要避難、立入禁止)										
所見記入者の意見 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 緊急度 大 中 小 無 ※被害程度の点数と危険度判定※ 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3 点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7 点(制限付き立入、通行しては避け避難) 大被害: 8~10 点(危険、要避難、立入禁止)										
所見記入者の意見 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 緊急度 大 中 小 無 ※被害程度の点数と危険度判定※ 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3 点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7 点(制限付き立入、通行しては避け避難) 大被害: 8~10 点(危険、要避難、立入禁止)										
所見記入者の意見 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 緊急度 大 中 小 無 ※被害程度の点数と危険度判定※ 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3 点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7 点(制限付き立入、通行しては避け避難) 大被害: 8~10 点(危険、要避難、立入禁止)										
所見記入者の意見 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 ※被害の判定は、最大高・最大長を加えた点数 緊急度 大 中 小 無 ※被害程度の点数と危険度判定※ 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3 点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7 点(制限付き立入、通行しては避け避難) 大被害: 8~10 点(危険、要避難、立入禁止)										

・宅地擁壁の定義での判定 6.2点

⇒判定区分「中」

要注意宅地

・宅地地盤の定義での判定 7点

⇒判定区分「中」

要注意宅地

51

ご静聴ありがとうございました

公益社団法人 全国宅地擁壁技術協会

52